



はーとなび

|編集・発行| 榊原記念クリニック 広報委員会 ● 新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 4階 TEL03-3344-3313

ご挨拶



院長 吉川 勉 循環器内科

高度循環器医療とチームワークで 安心と信頼を提供します

榊原記念クリニックは循環器を専門とするクリニックで、榊原記念病院の外来部門を担っています。循環器疾患治療の全領域をカバーし、循環器内科・小児科・外科を中心とし、専門性が高い疾病を広くかつ迅速に受け入れています。

ハイレベルの循環器系専門医、看護師等コメディカルを配置するとともに、精度の高い検査を迅速に行っております。特殊外来では経験豊富な専門医師が質の高い診断と治療を提供しています。

患者さんに安心して診療を受けていただくために、榊原記念病院や併設の検

診センターと緊密に連携をとり、循環器における専門性の高い診断と治療を提供しています。

榊原記念病院とはスタッフの相互派遣、医療機器・システム・カルテ等の共有、緊急時の入院などの連携体制を整えております。

また他臓器疾患が疑われる場合などは近隣の医療機関などにご紹介しております。

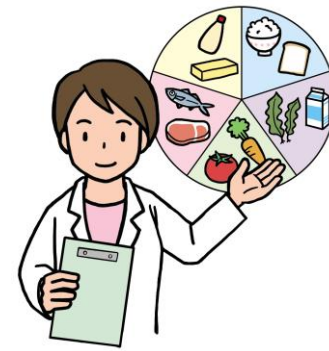
さらに地域連携を重視し、適切な診療後かかりつけ医にお戻しします。

その他、当クリニックでは下記のような取り組みをしております。是非、ご活用いただけますようお願いいたします。

- ◇ 下肢静脈瘤の日帰り高周波治療
- ◇ 国際医療機関認定病院として外国人患者の受け入れ
- ◇ ペースメーカーやICD 植え込み患者に対して遠隔モニタリングの実施
- ◇ 医師・コメディカルのチームで生活習慣病教室を開催
- ◇ 患者家族のためのAEDを使用した心肺蘇生講習会を開催

生活習慣病改善教室

虚血性心疾患の危険因子には、高血圧や脂質異常症、糖尿病などがあります。当院ではこれらの生活習慣病の予防や再発防止のため、1999年から「生活習慣病改善教室」を始め、2017年12月までに延べ1595名の患者さんに参加いただきました。担当は医師、看護師、薬剤師、管理栄養士の多職種によるチームです。内容は医療者側からの一方的な講義のみではなく患者さん参加型の教室を心がけています。また参加された患者さん同士の情報交換の場としても活用いただいています。生活習慣の改善には、まず知識を得ることが必要です。現代は色々な健康情報があふれていますが、医療機関としてエビデンスに基づいた正確な情報発信をしていきたいと思っております。



榊原記念クリニック ※原則予約制です

所在地:〒163-0804 東京都新宿区西新宿 2-4-1 新宿 NS ビル 4階

代表電話番号:03-3344-3313

受付時間(初診の方):月～金曜 8:30～11:00 13:30～16:00 土曜 8:30～11:00

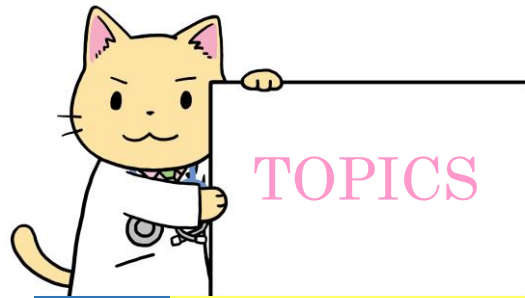
(再診の方):月～金曜 8:30～12:00 13:30～16:30 土曜 8:30～12:00

分院検診センター ※完全予約制です

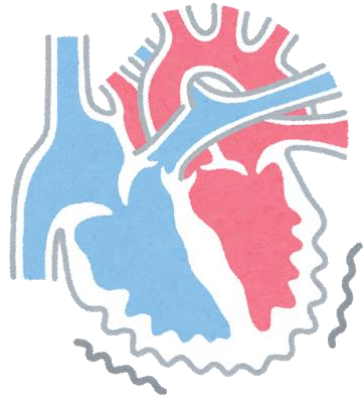
受付時間:月～金曜 9:00～16:30 予約専用電話 03-3344-4677(循環器ドック担当者まで)



- JR線**
新宿駅南口、中央西口、西口から徒歩10分
- 小田急線**
新宿駅から徒歩10分
- 京王新線・都営地下鉄新宿線**
新宿駅新都心口から徒歩5分
- 都営地下鉄大江戸線**
都庁前駅から徒歩5分
- 京王バス(宿41、宿45系統)**
新宿駅西口(京王デパート前、20番乗り場)から「中野車庫、中野駅行」に乗り2つ目の「新宿NSビル」下車
- 京王バス(新宿都心循環バス)**
新宿駅西口(京王デパート前、21番乗り場)から「新宿ワシントンホテル」下車



様々な特殊外来のご紹介



<ペースメーカー外来>

体内に移植されるペースメーカー、植込み型除細動器(ICD)、ループレコーダーなどの機器のメンテナンスを定期的に行います。

<睡眠時無呼吸外来>

高血圧や心臓病のリスクが高くなる睡眠時無呼吸症候群と診断された方に対するCPAP治療の実施、およびその診断のための検査(簡易検査は当院外来、精密検査は病院に一泊入院)を行っています。

<末梢血管外来>

主に上下肢や骨盤領域の血管の疾患を持つ方を対象としています。下肢静脈瘤、下肢静脈血栓症、閉塞性動脈硬化症、腹部大動脈瘤、などが主な疾患です。下肢静脈瘤に対して高周波治療(クリニック)やレーザー治療(病院)を実施しています。



<高安動脈炎免疫疾患外来>

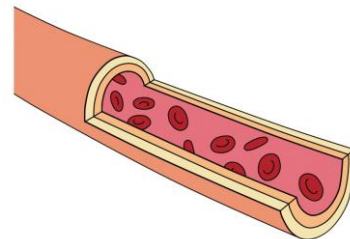
高安動脈炎は大動脈及びその他の血管に起こる原因不明の血管の炎症で、様々な症状があります。専門医による適切な診断と治療を行います。

<遺伝子外来>

遺伝に関連した病気について専門医がじっくりとお話を伺った上で正確な情報をお伝えし、解決策を見出すお手伝いをします。

<小児循環器外来>

新生児から成人までを対象とし先天性心疾患や川崎病後遺症、小児期に発生した後天性心疾患の診断治療を行います。



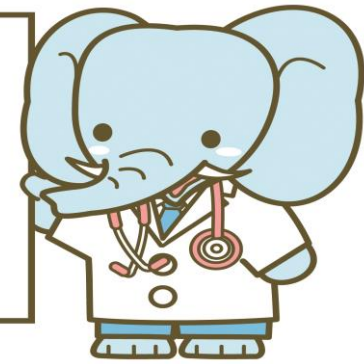
<心筋症外来>

心筋症は心臓の筋肉自体が悪くなり心臓の働きが障害される病気です。時には専門性の高い治療が必要な場合もあります。各種検査を行い、軽症から重症まで病態に合わせた適切な治療をご提案します。

<心不全外来>

多くの心臓病に合併する心不全は心臓ポンプ機能の障害によって様々な病状を引き起こします。息切れ症状やむくみ、不整脈などの重症度に合わせて系統的な医療を実施します。また、病院と連携して難治性心不全に対する高度先進医療を提供します。

特集



● 榊原記念クリニック薬剤科について

初診患者さんを中心に、来院時に服薬状況、アレルギー、治療上注意が必要な既往歴や服用薬(サプリメントも含む)をお薬手帳や診療情報提供書などの持参資料を基に聞き取りをおこない、後発品や専門外の薬でも医師に解かりやすい情報として、診察前に院内情報システムに入力して診療支援をおこなっています。

患者さんによっては持参資料もなく、ご自身の服用薬についてはっきり覚えていらっしゃらないこともあります。そのような場合にも患者さんの許可を取り、かかりつけの病院・診療所や保険薬局に問い合わせをし、処方の確認をおこない、医師が服薬状況を把握できるようにしています。聞き取りをおこなった時には、患者さんからいただいた情報が医師に伝わるように登録されることをお伝えして安心していただけるようにしています。



お薬の話

ヒト抗PCSK9モノクローナル抗体製剤(レパーサ、プラルエン)は、「心血管イベントの発現リスクが高く、スタチン薬を最大耐用量で一定期間服用しているにもかかわらず、JASガイドライン2012の脂質管理目標値に達していない高コレステロール血症患者」にとって新たな治療薬です。しかし、処方にあたっては施設基準等のハードルもあるため、治療の恩恵にあずかれない患者さんも多いと思われます。当クリニックでは循環器専門医がリスク因子などを十分に検討し、必要な患者さんに投与を開始しています。

昨年より在宅自己注射も可能となったため、医師と看護師が自己注射の手技を指導し、在宅自己注射が可能と判断された患者さんには「かかりつけ薬局」を決めていただきます。薬剤師が「かかりつけ薬局」に連絡をとることで、薬剤の在庫、資材の準備、使用済みの薬剤の回収等がスムーズにおこなわれています。

